



ピカピカの一年生(三つ子ちゃん)

議会だより

孔雀草

(町花「マリーゴールド」の和名)

- P2～ 町政の執行方針 町長への質疑
- P6～ 教育行政の執行方針 教育長への質疑
- P8～ 予算審査特別委員会質疑
- P14～ 一般質問
- P17～ 第1回定例会詳細・議会報新しい名前が決定
- P19 第2回・第3回・第4回臨時会
- P20 わたしの一言、議会のうごき

第150号

町長への質疑



第1回定例会

平成25年3月7日～15日

第1回定例会は、3月7日から9日間の会期をもって開催し、平成25年度の町政執行方針及び教育行政執行方針の報告を受けた後、3名の議員が一般質問(14～16ページ)を行い、町長の考えをたどりました。

議事は、補正予算、条例の改正および平成25年度の7会計予算を審議し、原案のとおり可決しました。また、人事案件について同意し、3月15日に閉会しました。

定例会前には吉田達庵さんによる議場コンサートが開かれ、大勢の方にご来場頂きました(17ページ)。

Q. 大石議員

現在、町にとっては大きなストアの存続が危ぶまれています。
利便性の面や、車のない人にとっては非常に大事なことです。行政として対策を考えているのか。

答弁

今のところ大手商店の存続等の情報は入っていませんが、商店存続の部分は町としても大事なことだと考えています。

地域消費活性化事業などに予算をつけながら、町内消費の拡大に向けた取り組みを進めていきます。

Q. 坂根議員

地域消費活性化事業は一時的に行なっても後に続かないのでは。まちづくり懇談会などで地域の方と一緒に話して話して欲しい。

答弁

今後のまちづくりの考え方については、懇談会や平成25年度策定予定のお互い様づくり行動計画等で意見をいただきながら、

■ 自立のための力強い産業

■ 安心の子育て環境と地域福祉

■ 次代へつなぐ人づくりと地域の絆

■ 安全な暮らしと快適な生活環境

■ 自立に向けた信頼の行政運営

平成25年度
まちづくりの方針

Q. 近藤議員

商店街や地域の方と一緒に生活しやすい地盤作りを考えていきます。

生活保護費が、平成25年

8月から基準が下げられるが、就学援助や公営住宅の入居関係にどのような影響が出てくるのか。

答弁

今のところは、現行水準で予算をつけています。

8月以降は生活保護費の基準見直しがあれば、基準に沿うこととなりますが、他町に比べ就学援助などは広い範囲で助成しています。



町内のストア



Q. 藤澤議員

「オオカミの桃」の原料を生産している年齢は60歳以上が74パーセントになっていて、存続が危ぶまれます。

増産に向けて平成25年度はどのように考えているのか。

答弁

原料生産者が高齢化し、今は生産本数を維持するのがよとの状況です。人・農地プランで各地域

の状況を把握し、農協・行政・公社が積極的に働きかけをしていくことが大事だと考えています。

今までのような助成制度だけでは生産振興は進んでいかないと思いますので、平成25年度からは農業技術指導員を配置していく考えです。

Q. 新田議員

「オオカミの桃」増産について、スピード感を持って改革し、今までにできなかった町民還元ジュースの実現を目指して欲しい。

答弁

増産に向けては野菜全体の振興で考えています。公社の取締役会等でも十分検討していきます。

町民還元用トマトジュースについては現在の生産量では難しいので、増えた段階で検討したいと考えています。

Q. 植西議員

町営バスの運行について、平成25年度中に新たな運行

体系への移行に努めるとありますが、どのような意向を持っているのか。

答弁

25年度、知遠別線は完全デマンド方式（予約制）への移行を検討しています。中途での乗下車も冬期間前までに住民の意向を踏まえて検討します。

循環線の路線縮小も含め、地域にあったバス路線にしていきたいと思っています。

Q. 木下議員

親と子の心のかけ橋プロジェクトで木製のスプーンと箸をプレゼントしますが、保護者の中には、子供の口に入るものなのでカビなどが心配という方もいます。

木のおもちゃ・表札といった発想はなかったのか、また、町内の加工業者に委託できなかったのか。

答弁

親と子が直接触れ合うことが原点で、赤ちゃんがミルクから離乳食になり最初に親と触れ合うスプーン・箸という発想にな

りました。

おもちゃという発想は最初からありません。

町内で木製品を加工している方は、小さなスプーンに印字などの加工はできないとのことでした。

Q. 藤澤議員

「次世代に引き継ぐ努力と豊かな基盤作り」とは、どのようなことを考えているのか。

答弁

農地の流動化等を積極的に行い、農地の集積化をしながら、生産基盤をしっかりと大きくして、農業者が強い経営基盤の中で生産できる体制作りをしていきたいと思っています。

町政の執行方針と教育行政執行方針は、広報たかす4月号と同時配布の「私たちのまちづくり」に掲載されていますのでご参照ください。

Q. 辻本議員

農地の集積等を進めると、農家戸数が減り、專業化が進んでしまうのではないかと、新しい発想で鷹栖の農業に取り組まなければならぬと思うが、考えは。

答弁

農業人口が減るからこそ集積などを進めますが、今までどおりの中小農家も必要だと考えています。複合経営の振興についての働きかけや、新規就農者への確実な支援を行なっていきたいと考えています。

Q. 木下議員

今回配置することになった図書館司書の活動はどのようなものか。

答弁

子どもたちが本を読むことによって、想像力や自発的に物事を考える力を高めることができるよう、読書環境づくりに中心的な役割をしていただきます。



学校図書室

Q. 中村議員

子どもの頃に感銘を受けた本がありますか。

答弁

「ファール昆虫記」や「シートン動物記」に夢中でした。読み聞かせをする中での会話が、親子関係に非常に大事なことと考えています。本を紹介して、人に優しいまちづくりができればと願っています。

Q. 新田議員

輝く君の夢応援事業は、子どもたちの希望と発想を基に進めるのか。

答弁

子どもたちが主役と考えています。多くが少年団等での活動を頑張っていますので、積極的に事業展開をしていきたいと考えています。

Q. 近藤議員

過日、何十年ぶりに体に感じる地震がありました。いつ来るかわからない災害ですので、防災についてどのように考えているのか。

答弁

自然災害、人為的災害を十分考慮しなくてはと思っています。平成25年度は防災備品を予算化して、避難場所の防寒対策も考えています。有事には、しっかり対応します。

Q. 木下議員

少年団の補助金を、毎年同じ額でなく、備品購入などを考慮して、その年によつての配分を変えてはどうか。

教育委員会からでなく、町長の考えで出す予算も

あつていいのでは。

答弁

年次のな予算配分を検討していかなくてはと思います。ボランティア活動をしながら資金調達している少年団もあります。物品等のそろわない実情を聞いて側面的に支援しながら、より楽しめるスポーツ環境を一緒に考えていきます。

Q. 中家議員

担い手を中心にした研修や、新規就農者のための多目的宿泊施設について、今後取り組む考えはないか。

答弁

住居のための施設については現在考えていませんが、受入施設は、空き家や定住対策も含めて検討していきたいと思えます。

Q. 藤澤議員

農用地利用調整協議会をどのように活用していくのか。ソフト事業も考えているのか。

また、野菜生産の総合的な対策とは。

答弁

農地集積という重要な役割を担っていただいていますので、行政も関係機関と連携し、活動支援を考えています。

中小農家が安定した複合的経営をしていけるよう、指導員を配置したり、新たに野菜振興にチャレンジする方を支援していきたいと考えています。

Q. 木下議員

パレットヒルズのパークゴルフ場を、3年間の指定管理者制度で対応とは、2度目の先送りでしょうか思えないが、今判断できない理由は。

答弁

今後指定管理の中で住民の負担にならない計画作りを心がけ、行政とし

て十分にバックアップしながら、現段階ではパークゴルフ場として利用していきたいと思っています。

Q. 中村議員

パークゴルフ場は前町長の3年間の試行期間を大切に、全体構想を進めてもらいたい。

答弁

パークゴルフ場は当分の間継続し、利用人数を増やして、健康づくり・福祉増進の場として利用していただきたい。

全体構想は町民と一緒に考えながら、多くの人が集える場所にしていきます。

Q. 片山議員

軽スポーツエリア・サイブスステーション・冒険の杜など、構想にしたがって整備した場合、総経費は試算できているのか。

答弁

総経費は2億円から6億円と考えています。水道・電気・基本的整備を中心に、子どもが遊べる

エリアも含め、将来に負担を残さない範囲で進めていきます。

Q. 藤澤議員

指定管理者に委託する3年間は、先延ばしではなくパークゴルフ場オープンまでの助走期間と受け取れます。

今までの町民感情をどのように払拭していくのか。

答弁

パークゴルフ場にお金をかけるのではなく、公園全体に対して計画を立て、整備していきます。

基本構想を、今後まちづくり懇談会等でしっかりと説明していく考えです。

Q. 辻本議員

過去にロッキールランドが閉鎖になりましたが、パレットヒルズはそうならないという根拠があれば。

答弁

水道については、費用対効果を考える必要があると過去に答弁を受けていますが、パレットヒルズは問題ないのか。

答弁

ロッキールランドを教訓に、多くの町民に来ていただけるようしっかりとPRし、行政としても利活用を図っていきたく考えています。

水道は、パレットヒルズのすぐ下まで来ていますので最小限の予算でできます。公園で楽しむ観光客を考えると、水道料に換算できない効果があると判断しています。



まもなく満開！（パレットヒルズ）

教育長への質疑



Q. 植西議員

新学習指導要領を着実に実施することのだが、新聞を教材にして討論する学習に取り組んでいるか。

答弁

新聞記事のいろいろな題材をもって、各学校で進めることを検討しています。授業の内容についても相談していきます。

Q. 坂根議員

子どもの成長記録「すくらむ」を活用して、就学や支援に取り組めないか。また、窓口を一本化してスムーズな支援や連携ができるか。

答弁

現在、就学指導委員会などと連携し、困り感のある子どもについて把握しながら進めていますので、「すくらむ」の利用は考えていません。

スムーズな支援ができるよう、教育相談の窓口で福祉や医療などの情報を共有し、他部門との連携を十分にとっています。

Q. 大石議員

北海道教育委員会は、「全国学力・学習状況調査」で平成26年までに全国平均以上にする目標を掲げていますが、本町の状況を伺います。

答弁

平成24年4月に「全国学力・学習状況調査」を実施しており、本町は全国平均を上回っています。

Q. 近藤議員

北海道教育委員会の「学力向上トリプルUP!事業」の中で、教員研修の項目があるが、本町ではどのように実施していくのか。

本町独自で30人学級や道徳教育を取り組む考えはないか。

いじめをなくすための環境づくりは、具体的にどのように進めていくのか。

答弁

教員の研修は、道教委から個別の教員宛に研修の案内があります。

30人学級の体制は、今後、検討していきますが、現在は学習支援員を最大限に活用したいと考えています。

道徳教育は、学校生活の中で指導しており、特別に道徳の時間をとることは考えていません。

いじめは、未然防止できるように学校や家庭、地域で子供たちの言動や素行に気をつけたいと思っています。毎年2回、いじめに関するアンケート調査を行っており、問題があれば解決に向け、面談などを行なっています。

Q. 中村議員

給食では、米や野菜など地元産を使用していますが、鷹栖町が誇る「オオカミの桃」を使用しているかがか。

答弁

以前、生産量が多いときには保育園や学校の給食に使用していましたが、現在は、使用していません。農業振興公社とも相談しながら努力していきたいと思えます。



小学校教室



給食についての講演会

Q. 坂根議員

学校給食を通しての食育推進の内容、給食の放射能測定の公表方法は。

答弁

平成17年から栄養教諭が、各小学校で食材の説明や食育についての時限をとっています。

給食の放射線量測定の結果はホームページで公表したいと考えています。

Q. 大石議員

不登校の現状は。また北海道教育委員会に要望しているスクールカウンセラーの配置の見込みは。

答弁

現在不登校になっている子供は若干います。

先生や友達が登校前に声をかけたり、家庭訪問をして話を聞いたりしています。

また平成22年度から、教育大学の臨床心理の専門の先生に毎週来ていただいで、色々な相談をしています。

Q. 片山議員

読書活動の推進事業において、町職員と司書のどちらが主導していくのか。

また、司書の拠点となる場所はどこか。

答弁

司書と町職員のどちらかが主導するということではなく、互いに信頼関係を結び一丸となって進めていきます。

司書の活動拠点は、鷹栖・北野地区住民センターの図書室を考えています。学校や子育て支援センターでの活動も時間を見ながら考えていきます。

Q. 木下議員

文化・スポーツの指導者の高齢化が懸念されていますが、指導者の名簿は作成しているか。

答弁

過去に登録をしましたが、うまく利用できませんでした。人材バンクを活用して、町民に活躍していただける場を設定していきたいと考えています。

Q. 中家議員

農業の宿泊研修、小中学生の学習研修、グリーンツーリズムなど多目的に使える宿泊施設が必要ではないか。

答弁

農村の空き家対策、定住対策も含めて検討していきたい。小中学生の交流の場所としては、ノーマライゼーションセンターを活用しています。

Q. 坂根議員

生後9ヶ月と2歳の健診の際に行うブックスタートで、受診しなかった場合の

対応は。

答弁

健診を受けられない方には、自宅に向いて本を選んでもらっています。

Q. 片山議員

学習支援員を継続して配置するための基準は設定するのか。

答弁

学習支援員は、少しでも学習能力を高めていくために配置します。継続に関して数値基準は設定しません。



ブックスタート

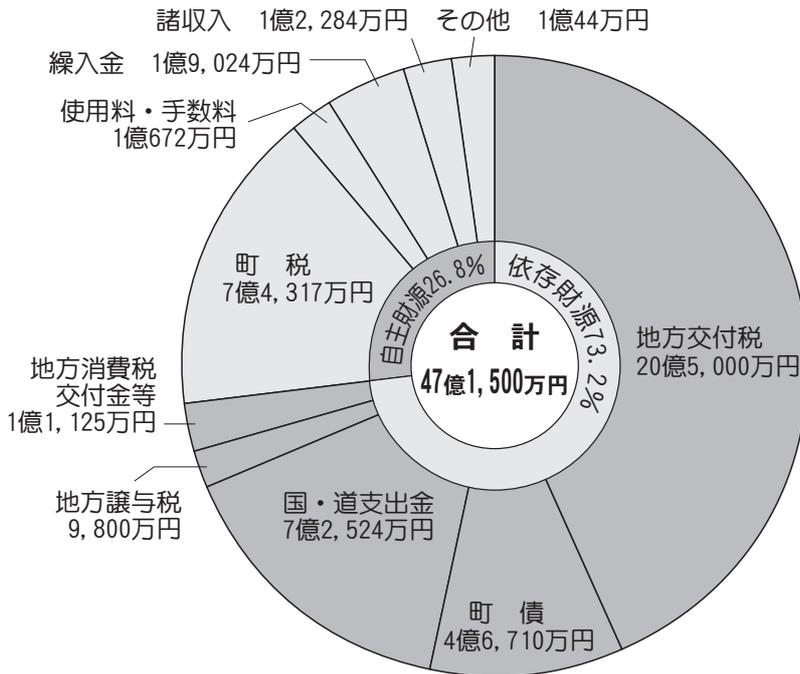
まちづくり

定例会5日目の3月11日、新年度予算についての提案説明を受けました。

審査は、予算審査特別委員会を設置し、13日・15日の2日間で、事業などについての質疑を行い、原案のとおり可決しました。

平成25年度予算

歳入



自主財源…

町が自主的に収入とすることができるお金

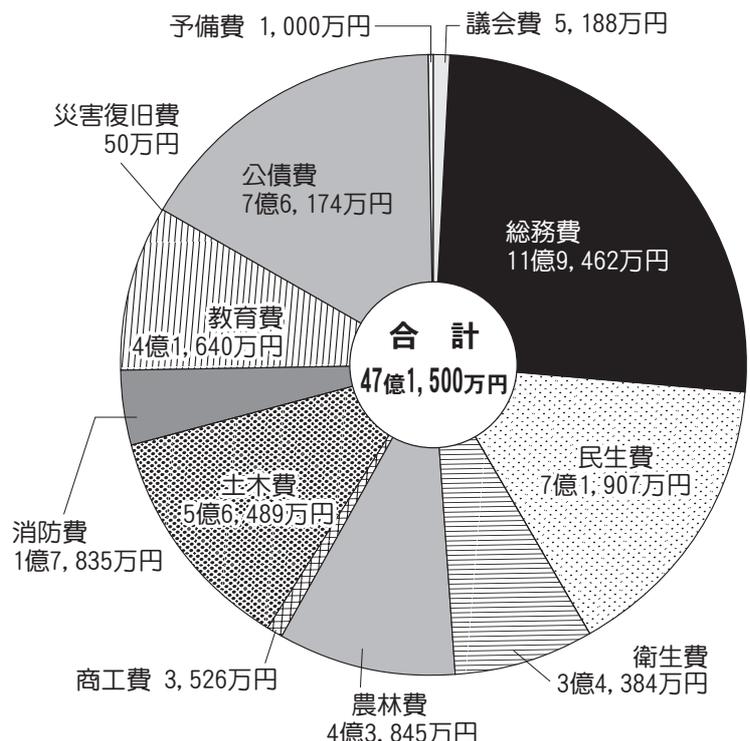
依存財源…

国・道から交付、補助されるお金や借金(町債)

歳出

平成25年度 各会計予算額

会計名	予算額	
一般会計	47億1,500万円	
特別会計	国民健康保険	8億9,154万円
	後期高齢者医療	7,464万円
	介護保険	6億7,858万円
	公共下水道	2億6,224万円
	公平委員会	1,600万円
	計	19億2,300万円
企業会計	水道会計	
	収益的支出	1億7,880万円
	資本的支出	1億2,541万円
計	3億421万円	
合計	69億4,221万円	



人を大切にした 力強く 確実な

主な新規（拡充）事業

総務費

防災対策の拡充（発電機、ストーブ購入）、無線電波アンテナ設置、「親と子」心のかけ橋プロジェクト、ファイターズ応援大使とのPR活動、住宅用太陽光発電システム設置補助、輝く君の夢応援事業

民生費

子ども医療費助成拡充、放課後児童クラブ活動事業拡充、保育園運営の拡充（放射能測定検査、通園費補助）

農林費

新規就農者・農業後継者確保対策事業拡充、農産加工施設運営の拡充（蒸気ボイラー更新）、地産地活推進事業、野菜生産振興対策事業拡充

土木費

しらかば・メロディー団地非常灯取替、つつじ団地外壁等改修、10線デザイン灯修理、9線道路/南町内道路改良舗装工事、14線道路交差点改修、11線道路改良舗装、近文橋修繕

衛生費

カメムシ対策補助金、生活習慣予防事業（自殺対策）、健康づくりポイント制事業

商工費

中小企業等支援施策事業、雇用促進対策事業、観光振興事業（軽トラ市&フリーマーケット）

教育費

ことばの通級教室、幼稚園通園費補助、学校給食放射能濃度測定検査、学習支援員配置、図書司書配置、中学校大規模改修設計、児童用図書の充実、ななかまど大学校歌作成、B & Gプール改修

消防費

救急無線デジタル化実施設計

公共下水道事業特別会計

ポンプ場耐震補強工事

水道事業特別会計

鷹栖北町内水道管布設替工事

予算審査特別委員会質疑

■ 一般会計 ■

総務費

Q. 木下委員

平成25年度は、職員研修事業を充実させる内容になっていきます。現段階で説明できる部分は、また、議会の所管事務調査に職員が随行することについての考えは。

総務企画課長 業務が複雑化してきており、専門的な研修が必要となっております。

す。業務専門研修を新たに設け、資質向上を図っていく、自己研さんのための研修も参加させていきます。また、議会の所管事務調査への職員随行も、積極的に取り組んでいきます。

Q. 片山委員

無線電波アンテナの設置工事が始まり、これを使ってインターネット接続をする場合、初期費用の個人負担はどのようになるのか。

総務企画課長

11月か

Q. 近藤委員

ら供用開始の予定です。個人負担については約10万円かかりますが、市街地内では2、3万円で接続できるの、同等の負担になるよう補助を考えています。

町職員のラスパイルス指数はどのようになっているか。

また、一般職員の退職金減額という話もあるが、特別職の退職金についての考えは。

総務企画課長・町長 国
 家公務員の給与削減前は

96・3、削減後は104・2となります。特別職の退職金については他町村の動向等も見ながら検討していきます。
 ※ラスパイルス指数：国家公務員の給与額を100として地方公務員の給与額を算出したもの



ファイターズポスター

総務費 続き

Q. 近藤委員

ファイターズ応援大使事業の内容は。

総務企画課長

球団から詳細な返答が来ていませんが、札幌ドームでの特産品の販売、2名の選手を使ったパンフレットの作成や、記念植樹に来町していただくことなどを考えています。

Q. 片山委員

マスコット着ぐるみとは、あったかす君の着ぐるみを作るといふことが。

総務企画課長

町民の皆さまにも親しまれているあったかす君の着ぐるみを作り、イベント等で活用していきたいと考えています。

Q. 中家委員

パレットヒルズ整備費で、新規の基本設計委託料以外にも増額しているが、その理由と委託先は。また、パークゴルフ場の扱いは。

総務企画課長・町長

パレットヒルズ全体の管理費として予算を組替えたため、むしろ減額されています。

基本設計の委託先は、公園等の設計実績のある設計コンサルタントが対象になります。

利用料収入も見込めるパークゴルフ場という選択が、現状で最もよい活用方法と判断しました。全体を指定管理者に任せ、パークゴルフ場への投資は3年後以降と考えています。

**パレットヒルズの進め方
今後のスケジュール**

- H25**
4～6月 住民説明会
現地見学会など
7月 構想素案取りまとめ
8月 構想素案議会協議
9月 構想を基に
基本設計委託発注
- H26**
3月 実施設計委託予定
- H27～(3～5カ年)**
実施設計を基に
工事予定

Q. 近藤委員

パレットヒルズの基本設計委託料の1千万円は高すぎるのではないか。

総務企画課長

最大の金額として予算計上しています。実際に1千万円かかるのかは今後更に精査し、少しでも安くできるよう努力をしていきます。

Q. 片山委員

パレットヒルズで「さくらフェスタ」以外のイベントは考えているのか。

総務企画課長

当初予算

の中では考えていません。地域や町民の方々から要請等があった場合は、町としても検討し、議会とも相談しながら考えていきます。

Q. 中村委員

パレットヒルズについて、全町民を対象としてアンケート調査をするのが一番よいと思うが。

町長

政策的な事業は他にもあり、その部分を考慮しなければならぬと思っていますので、事業別のアンケート調査は行わない判断をしました。

衛生費

Q. 木下委員

コンポストと生ごみバケツ、町としてはどちらを推進していくのか。

町民税務課長

環境にやさしく、コストもかからないコンポストは好評です。

生ごみバケツでの堆肥化も有効に活用していき、両方とも積極的に推進していく考えです。

Q. 近藤委員

後期高齢者の健診委託料が増えている理由は。



生ごみバケツ

コンポスト

町民税務課長 高齢者の意識が非常に高く、受診の実績が伸びているためです。

Q. 坂根委員

「健康づくりポイント制事業」の実施期間が平成25年5月から12月となっているが、冬こそ大切ではないか。

また、対象を20歳以上とした理由は。

生涯元氣課長

期間を平成25年5月から翌年2月末と改めます。

20歳以上がガン検診等の対象年齢ですので、健康を意識し受診をしていただけのように、設定しました。

Q. 坂根委員

幼児支援教室用備品購入費の内容は。

生涯元氣課長

はびねすで行なっているステツプ教室の、子供に合わせた机・椅子の購入費です。

農林費

Q. 植西委員

鳥獣被害防止で電気柵の導入についての考えは。

産業振興課長

電気柵は費用もかかるため、国の新規の交付金に対して、振興局経由で要望をしています。

Q. 中村委員

イエスクリーン認証米生産奨励事業の現状は。

産業振興課長

従前8戸の取り組みがありました。平成24年度は稲わらを、ほ場から撤去できなかったこともあり、5戸に減りました。

平成25年度は従前同様8戸の取り組みが予定されています。



Q. 青野委員

農地の一時保有は法人でなければできない。農業振興公社が事業の中心を担っていくべきではないか。

町長

公社の位置づけも含め検討を加えていきます。

Q. 中家委員

農業委員の活動が相当増えてきています。負担に配慮するために報酬を見直す考えはないか。

町長

今後、特別職報酬等審議委員会を検討していく課題として押さえています。

Q. 中村委員

農業後継者等パートナー対策事業の内容と成果は。

農業委員会云事務局長

旭川市、愛別町と本町で構成しているパートナー対策協議会で1泊2日の取り組みをしています。平成24年度は男性5名、女性3名の参加がありました。

商工費

Q. 大石委員
企業立地推進事業の内容は。

産業振興課長 道内の企業を対象に、きつかけ作りを目的としたアンケートを実施するため、20万円ほど増額しました。

教育費

Q. 近藤委員
学校給食運営委員会の内容は。

学校給食センター所長
委員会は校長3名、栄養士、PTA、各農業関連団体からの、計10名の委員で構成していて、年1回開催しています。
平成25年度は消費税の関係もあり、給食費の検討もを行います。

Q. 近藤委員

メロディーホールの運営費が7千6百万円強と、建設当初の見込みからかなり



増えているが、今後もこれだけかかるのか。

教育課長 老朽化している音響設備をデジタル化するため、今回は経費が増えています。
修繕について不確定な要素もありますが、今後は建設当初の予定通り5千万円前後で推移するのではないかと思われれます。

Q. 大石委員

メロディーホールの自主文化事業の状況は。

教育課長 平成24年度は8本の公演がありました。入場者数は200人から400人です。
他の会場より安く設定しているため、札幌からの来場者もいます。

Q. 木下委員

中学校の大規模改修の内容は。また、年次のな予定は。

教育課長 総額1億から1億5千万円かけ、第一体育館以外の全ての工事を行います。
授業等への影響も考え、単年度で行います。

Q. 大石委員

鷹栖高校の存続に向けてどのような活動をしているのか。

また、住民との接点を増やすため、どのような努力を行なっているか。

教育課長 知事や北海道の教育長に陳情を行い、学校の特色を出すための補助もしています。
子どもたちを対象に、年10回程度、科学教室を行ったり、父母だけでなく地域にも学校を開放しています。



予算審査特別委員会 平成25年第1回定例会

議会報
ひとくち
メモ

質問議員名が「〇〇議員」ではなく「〇〇委員」となっているのはなぜ？

答え：予算は特別委員会で審議しており、質問者は全員委員だからです。

特別委員会とは、特定事案の審査など、必要に応じて設置される委員会のことで、鷹栖町議会では毎年、予算審査の際に設置しています。なお、今年の委員長は副議長（新田健一議員）でした。



Q. 近藤委員

平成25年度から司書を配置することになったが、図書購入費が40万円しか増えていない。タブレット端末や視聴覚資料についての見解は。

教育課長

40万円以外に消耗品費を増額し、雑誌類も充実させていきます。

図書費は今後も少しずつ増やしていく、タブレット端末等については、もう少し整理して検討していきます。

特別会計

公平委員会

Q. 近藤委員

公平委員会は、将来的に2名体制になるのか。

総務企画課長

事務局長の退職もあり、1名採用し、当面2年間は2名体制になります。

水道

Q. 植西委員

社会福祉法人への水道料の減免措置などの考えはないのか。

建設水道課長・副町長

水道事業会計は企業的な考えをするため、この中での助成は考えていません。

過去には、一般会計で水道料相当の支援をしていました。今後、要請があった場合、内容を聞いて判断していきます。

～予算審査特別委員会審査報告～

審査の結果、平成25年度鷹栖町一般会計予算及び5特別会計予算、1事業会計予算は、「原案のとおり可決すべきもの」と決定しました。

なお、平成25年度鷹栖町一般会計について、次の意見がありました。

第7款・土木費

第5項・都市計画費

3目・パレットヒルズ整備費

13節・委託料

パレットヒルズ整備基本設計委託料1,000万円については、パレットヒルズ構想を策定するまで執行は認めない。

■次回の定例会は6月です

鷹栖町議会

議会に関するお問い合わせはこちらへ

〒071-1292

北海道上川郡鷹栖町南1条3丁目
5番1号

TEL 0166-87-2111

FAX 0166-87-2196

mail:gikai@town.takasu.hokkaido.jp



PM2.5の測定器(旭川市)

質 問

パレットヒルズのパークゴルフ場継続構想は

大気汚染源PM2.5の健康への影響は

答弁 25年度より3カ年は指定管理者委託で

答弁 国、道と連携し、必要に応じ情報提供をしたい

大石 隆 議員

質問 パレットヒルズ

の新構想案では、当面の間、パークゴルフ場を活用しながら、水道や休憩施設を配置するとあります。

試行期間中、利用者が平成23年の2万5千人に対し平成24年は1万2千人程と半減しています。どの程度なら継続可能と考えていたのか、今後利用者数によつては廃止を含めた考えをお持ちなのか伺います。

一方、丸山パークゴルフ場は町外からの利用者も多く、食堂、売店、野菜の直売所もあり地域に大きく貢献しています。両パークゴルフ場の共存について伺います。

答弁 町長

昨年は芝の状態が良好でない時期もあり、入場者が減少しましたが、パレットヒルズ全体の管理経費を考えた時、パークゴルフ場を活用することで、経費の軽減も図ることができると考えています。

平成25年度からの3カ年間、パレットヒルズ全体を指定管理者に任せ、利用者数等、状態をみながら、再考していきたいと思えます。

2つのパークゴルフ場は景観や立地条件など特徴も違いますので、連携も検討していきます。

質問

旭川市で微小粒子状物質(PM2.5)

の濃度が国の環境基準値を超えていたことが2月5日に道の観測速報値でわかりました。中国の大気汚染との因果関係は不明で、ただちに健康への影響はないということではありません。

しかし、とても小さい物質のため、ぜんそくや気管支炎などの原因の一つとして考えられ、呼吸器や循環器に疾患がある人や幼児、老人にとつては注意が必要です。鷹栖町でも健康への影響が懸念されると思えますが考えを伺います。

答弁 町長

PM2.5は自動車やボイラーなどの排気ガスが原因の一つと考えられます。

旭川市は道内の他の観測地点よりも地形的に大気の滞留しやすい場所ということもあり、発生源が道外であると特定する材料もないのが現状です。心臓や肺に持病のある方やお年寄り、子どもなどの健康への影響を懸念していますが、過剰に不安をおおることのないよう国、道と連携し、必要に応じ情報提供をしたいと考えています。



空き家

質問

空き家の有効活用について

答弁

実態調査を行い、補助金を含め運用方法を考える

質問

平成19年4月1日から施行している「鷹栖町空き家バンク設置規則」があり、その趣旨は、「鷹栖町における空き家の有効活用を通して、町の活性化と鷹栖町への定住促進を図るために」と定義されています。

「空き家バンク」が施行されてから6年が経過していますが、どのような運用方法で行われ、成約件数は何件だったのかお尋ねします。

また、情報を周知徹底する方法、現状把握も大事だと思えます。行政側として空き家の数を把握することや、空き家にしたまま、町を離れた方々に積極的にアプローチする

することも必要です。

定住促進住宅建設補助金が上限で150万円ありますので、建築だけでなく、空き家への移住者奨励金の支給も一つの方法です。

マイホームの借上げ制度、移住者体験住宅、農業体験者の受入施設、貸別荘などの運用方法も多々あると思います。

運用方法への問題意識を持って、2、3年に一度見直すのも大切と考えますが、町長の考えを伺います。

答弁 町長

これまでこの制度を活用して2件の登録物件が利用された経過はありますが、近年では所有者からの情報提供が非常に少ない状態にあります。

PRやアプローチがやはり少なかつたと反省しています。

12月の一般質問でご指摘いただいた危険家屋も含め、平成25年度には、空き家の実態調査を確実にやりたいと考えています。

定住は重要な政策だと考えています。そのためにも、鷹栖町の活性化に

は、新しい住民の方に移住していただくことが非常に大事だと考えますので、補助金は、定住対策、土地利用対策も含め、役場の内部で検討し、平成25年度から積極的に考えます。

今後、町全体の定住対策と連携させながら、空き家の有効活用が図れるような仕組みづくりを検討していきたいと考えています。

中村 公憲 議員



質 問

7 総を今後どう扱うのか

片山 兵衛 議員

答 弁

基本構想を基に遂行に努める



第6・7次鷹栖町総合振興計画

質問 第7次鷹栖町総合振興計画について、現時点での評価及び今後の対応について伺います。

7総は平成22年度から実施され3年が経過しますが、北野地区の国営農地再編整備事業、インターネットの環境整備など順調な事業がある一方、農業後継者の配偶者対策や農産物の販路拡大など努力のわりに成果の上からない事業、障がい者就労支援モデル事業のように中断してしまっている事業もあります。

また、デザインのあるまちづくり推進事業などは、ほとんど手付かずの

ままです。これも美しいまちづくりには欠かせないことですし、ぜひ7総の実施期間中には手掛けてほしい案件です。

7総は平成31年度までの私たちの希望であり目的です。可能な限り実現を目指すのであれば、目指さなければならぬのは当然のことですが、だからこそ、ここで再検討する必要もあるのではないのでしょうか。

町長は現時点で7総をどのように扱われるおつもりか、今後はどのような展開を考えているのか、お聞かせください。

答 弁 町長

7総は現在、ほぼ順調に進んできていると考えています。

総合振興計画は、基本構想を基に、毎年の実施計画の見直しと、5カ年毎の基本計画の見直しを図っていきます。基本構想は議会でも議決をいただいております。基本構想は議会でも議決をいただいております。町長が変わったことにより変えるべきではないと考えています。

事業によっては、状況や課題などの変化によって中断、または他の事業と統合したものもあります。事業の達成度や状況の変化などを総合的に判断し、総合計画の遂行

に努めます。

デザインのあるまちづくり推進事業については、全体的な町の構想を今後考えていきます。計画を具現化していくため、役場の企画部門や建設部門で、今年度中に検討会を設け、検討の結果を商工会、観光協会など関係機関、団体とも協議しながら進めていきたいと考えています。

平成27年度からも、基本構想を基に町民の皆様と将来の目標に対する検討・議論を行い、後期5年間の基本計画の策定に取り組んでいきたいと考えています。

第1回 定例会

3月7日～15日



議場コンサート

3月7日定例会前に、町内在住のギタリスト吉田達庵さんと旭川のボーカリスト和島京都さんが、素敵なジャズを議場に響かせてくれました。

条 例

■パレットヒルズ設置及び管理に関する条例

・公の施設とし、今後の管理運営等を図るための制定です。

■鷹栖町新型インフルエンザ等対策本部条例

・国からの義務付けによる制定です。

■鷹栖町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例 ■鷹栖町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例

■鷹栖町指定地域密着型サービス事業所等の指定に関する基準を定める条例

・上記3件は、介護保険法の改正による制定です。

■鷹栖町公営住宅等の整備基準に関する条例

・公営住宅法の改正により、世帯基準及び入居収入基準を定めます。

■鷹栖町道路の構造の技術的基準等を定める条例

・道路法改正による、技術的基準や標識の寸法等を定めるものです。

■鷹栖町都市公園条例

・都市公園法、バリアフリー法の改正による制定です。

一部改正の条例

■鷹栖町メモリアルパーク設置条例

・都市公園条例と重複部分を削除。

■鷹栖町課設置条例

・機構改革に伴う改正です。

■鷹栖町住居表示審議会条例

・課設置条例改正による、庶務担当課変更に伴う改正です。

■鷹栖町乳幼児等医療費の助成に関する条例

・医療費助成が中学校卒業まで対象となります。

■鷹栖町生ごみ堆肥化施設の設置に関する条例

・堆肥を量売り(10kg=150円)で購入できるようになります。

■鷹栖町廃棄物の処理及び清掃に関する条例

・廃棄物の処理及び清掃に関する法律改正による、技術管理者の資格を定めるものです。

■鷹栖町公共下水道条例

・公共下水道の構造基準と終末処理場の維持管理基準を定めるものです。

■鷹栖町水道事業給水条例

・布設工事監督者を配置する工事等の基準を定めるものです。

第1回 定例会

3月7日～15日

【一般会計】

主な内容は、事業見込みに伴う減額補正ですが、総務費で、財政調整基金積立金として1億320万2千円を増額しました。

【特別会計】

内容は、事業完了見込みに伴う補正です。

補正予算

平成24年度予算が下記のとおり補正されました。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一 般	1億8798万4千円	46億8506万5千円	46億8667万3千円
内 訳	議会費	△21万2千円	執行残減額
	総務費	1億6390万1千円	財政調整基金、減債基金積立金ほか
	民生費	65万9千円	福祉灯油の措置、執行残減額
	衛生費	△898万4千円	執行残減額
	農林費	△135万5千円	農地集積協力金等の増額、執行残減額
	商工費	△334万6千円	執行残減額
	土木費	5596万9千円	公営住宅整備事業の増額、執行残減額
	教育費	△530万3千円	執行残減額
国 保	700万円	8億9431万3千円	9億131万3千円
介 護	△1066万9千円	6億7839万8千円	6億6772万9千円
公共下水道	65万5千円	2億8300万5千円	2億8366万円
水 道	不足する額は過年度分損益勘定留保資金で補填する。		
内 訳	収益的収入	△440万円	他会計補助金の減額、愛別ダム売電収入の増
	収益的支出	△493万円	水処理負担金の減額、支払利息の減等
	資本的収入	△1645万円	建設事業債の減額、道道水道管布設替補償金の増額
	資本的支出	△600万円	執行残減額

指定管理者の指定

各地区住民センターの管理団体を次のように指定しました。

■鷹栖地区

鷹栖地区住民センター管理団体
代表 長田 潔

■北野地区

北野地区住民センター管理グループ
代表 山原 稔

■中央地区

特定非営利活動法人 柏の里
理事長 古屋 富夫

■北斗地区

北斗地区住民センター管理グループ
代表 山中 俊幸

■北成地区

北成地区施設管理グループ
代表 橋本 孝一

選任同意

■上川町村等公平委員会 委員

任期満了に伴い、次の
方の選任に同意しました。

(留任)

武島 勇孝さん
(中富良野町)

■鷹栖町監査委員

膳法法幸さんの後任として、
次の方の監査委員選任に同意
しました。

(新任)

前井 誠一さん
(10線6号)



意見書・発議

■平成25年度地方財政対策に関する意見書】

上記の意見書を採択し、各行政庁に提出しました。

■鷹栖町議会会議規則の一部改正】

■鷹栖町議会委員会条例の一部改正】

上記の規則・条例の一部改正を発議で提案し、原案どおり可決しました。



議会報「みんなの議会」の新しい名前が「孔雀草」に決定！

全国から計19通の応募があり、議員全員の投票により、「孔雀草」となりました。命名者の中村静子さん(北野在住)は、鷹栖の町花「マリーゴールド」にちなみ、和名である「孔雀草」を応募してくれました。

名前が決定したことを伝えると、「鷹栖に移り住んで8年半、こんなうれしいことはない」と喜びを語ってくれました。

その他、たくさんのご応募ありがとうございました。



中村静子さん

第2回臨時会

2月5日に開催された臨時会において、平成24年度一般会計補正予算について審議し、原案のとおり可決しました。

■補正予算

【一般会計】「故小林勝彦様を偲ぶ会」の運営費用を増額するものです。内容は、会場設営費及び開催諸経費です。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般	397万5千円	47億2444万8千円	47億2842万3千円
総務費	397万5千円	名誉町民追悼事業	

第3回臨時会

3月29日に開催された臨時会において、平成24年度一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算について審議し、原案のとおり可決しました。

■補正予算

【一般会計】歳入歳出確定による総額1億1,376万1千円の増額補正です。

【国民健康保険特別会計】平成24年度事業費確定精算によるものです。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般	1億1376万1千円	49億1640万7千円	50億3016万8千円
(内訳)			
総務費	5711万8千円	総務管理事業	
土木費	4089万円	除排雪対策事業、安全・安心公園整備事業	
教育費	1575万3千円	小学校管理事業、総合運動公園等屋外施設管理事業ほか	
国保	0円	決算見込みによる他財源への組替え	

第4回臨時会

4月24日に開催された臨時会において、補正予算の専決処分、2本の条例の一部改正と公の施設に係る指定管理者の指定について審議し、原案のとおり可決しました。

■専決処分の承認 ※専決処分…議会を召集する時間的余裕がないため、事後報告を承認すること

【一般会計補正予算】平成24年度会計における、総額146万9千円の減額補正です。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般	△146万9千円	50億3016万8千円	50億2869万9千円
(内訳)			
総務費	△146万9千円	諸歳入減による財政調整基金積立金の減	
民生費	0円	財源組替え	

■条例の一部改正…地方税法等の改正による条例の一部改正です。

【鷹栖町税条例の一部改正】

【鷹栖町都市計画税条例の一部改正】

■公の施設に係る指定管理者の指定について

【施設の名称】パレットヒルズ

【指定管理者となる団体】株式会社グリーン開発 代表取締役 栗林 美幸(北1条1丁目1番16号)



藤井照英さん
(9区町内会)

「協力・協働」のまちづくり

退職を機に農業の道へと身を転じてから、早いもので6年目の春を迎えました。四季を感じながらの農作業は毎日が新鮮で、充実した日々の暮らしに感謝の毎日です。

会社に勤務していた頃とは違い、一日の大半の時間を町内で過ごしていますので、自ずから町の行政運営にも関心が湧いてきます。

議会の傍聴にも何度か足を運びました。国政を含め不安定な要素が取り巻く中で、様々な要望に応えながらの町づくりには御苦労が多いことと思います。先日、谷町長は町政執行方針の冒頭で「地域に足を運び」「小さな声に耳を傾け」「共に考え」「共に行動する」ことを大切にされた町政運営を訴えていました。

今後は、理事者の方も議員の皆さんも職員の方々もこの事を念頭に置いた諸活動に取り組んでいただけることと確信しています。

また、私たち町民も「身近な暮らしに関心を持ち」「小さなことでも声を出して」「町づくりのために共に汗をかく」姿勢が大切であると強く感じています。「協力・協働のまちづくり」の進展を期待しています。

わたしの一言

「これからも・・・」

鷹栖町に生まれ、阿戸家に嫁いではや28年・・・

家族とともに色々なことを経験し、楽しんでできました。2年前に仕事も退職し、去年から家で何か出来ることとはと考え、夫からの助言もあり、原料トマト作りに挑戦しました。

家族に助けてもらいながら頑張ったのですが、結果はあまりよくなく・・・残念でした。

2年目の原料トマト作り、今度は結果が出せるように、体・頭も使い頑張りたいと思います。

それから、原料トマトが足りないと聞いています。もし良かったら皆さんも作ってみませんか?毎日世話をしているととてもカワイイですよ…。そうしたらオオカミの桃もたくさん出来ますよね。

この鷹栖で地域の人たちと関わり、前向きに農業を楽しんで暮らしていきたいと思います。そして、農業で鷹栖がもっと元気になれたらと・・・



阿戸晴美さん
(34区町内会)

議会のつどいき

H25.2.1
~4.30

2月

1日 上川町村議会議長会中央部会定例会(美瑛町)
5日 総務文教常任委員会
(第2回臨時会で提案される議案について)

第2回臨時会

7日 全国市議会議長会基地協議会総会(東京都)
18日 委員長等会議・議会運営委員会
(平成25年度予算について ほか)

21日 経済福祉常任委員会(第1回定例会で)
提案される議案について(22日)

25日 総務文教常任委員会(第1回定例会で)
提案される議案について(26日)

28日 議会運営委員会(第1回定例会で提案される案件や
意見書の取り扱いについて協議し、会期などを決定
議員協議会(平成25年度予算財政状況 ほか)

3月

7日 第1回議会定例会(15日)

15日 議会報特別委員会
議会活性化委員会役員会
(次年度の活動計画について)

29日 議会報特別委員会
経済福祉常任委員会・総務文教常任委員会
(第3回臨時会で提案される議案について)

26日 第3回臨時会
議会活性化委員会総会(次年度の活動計画について
議会報特別委員会)

9日 第4回臨時会
議会報特別委員会
議会活性化委員会
(第4回臨時会で提案される議案について)

16日 第4回臨時会
議会報特別委員会
議会活性化委員会
(第4回臨時会で提案される議案について)

4月

24日 第4回臨時会
議会報特別委員会
議会活性化委員会
(第4回臨時会で提案される議案について)

19日 第4回臨時会
議会報特別委員会
議会活性化委員会
(第4回臨時会で提案される議案について)

16日 第4回臨時会
議会報特別委員会
議会活性化委員会
(第4回臨時会で提案される議案について)

9日 第4回臨時会
議会報特別委員会
議会活性化委員会
(第4回臨時会で提案される議案について)